



## 第25号

令和5年2月1日発行

雲南地区保護司会  
 (事務局:雲南市木次町木次1012番地1)  
 <TEL・FAX(0854)42-3550>  
 題字揮毫:陶山頼子 保護司  
 印刷:出雲総合印刷企画社

【深野神楽】 「八声」須佐之男命が斐伊川の上流で、一人の姫を連れて嘆き悲しんでいる老夫婦に出会いました。これまで7人の姫を大蛇に取り吞まれ、残ったこの姫を守ってほしいと懇願されその後、須佐之男命は見事大蛇を退治し、この稲田姫を妻に迎えたという神話の演目です。

撮影 木次支部 藤原静雄 保護司



### つながりの大切さ

飯南町長 塚原隆昭

雲南地区保護司会の皆様には、日頃より犯罪や非行防止活動、更生保護活動に多大なるご尽力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、コロナ禍での生活も三年目を迎えました。これまで当たり前でできていた人と人との交流が制限され、コミュニケーション活動が希薄となってきた今日においては、児童虐待や家族間でのトラブルによる犯罪の報道を多く耳にするようになりました。様々な問題や困難を抱えながら生きている人々が増加しており、これが悲惨な事件の要因にもなっているのではないかと感じております。

罪を犯した人や非行に及んだ少年たちも、いずれは社会の中で生活していかなければなりません。コロナ禍で以前にも増して相談しづらい状況下での生活は、これまで以上に不安が大きく、社会復帰への道のりは一段と険しいものと考えられます。

社会の一員として立ち直ろうとする意欲のある人々やその家族にとって、保護司の皆様や更生保護女性会の皆様の活動

は、心の支えとなり、社会とのつながりを再認識することができると感じています。

また、本人への指導・助言や生活支援などのきめ細やかな活動により、再び社会の中で人とのつながりを取り戻すこと、それが再犯防止にも繋がり、安心安全な地域づくりに繋がるものと感じております。

本町では令和三年三月に「人権施策推進基本方針」を改定し、罪を犯した人々への支援として、地域社会からの偏見や差別、不当な扱いを受けないよう、関係機関と連携して啓発活動に努めるほか、社会復帰への支援を推進することとしています。

今後も皆様とともに、犯罪のない安全安心な地域づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、雲南地区保護司会の益々のご発展と皆様のご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



# 令和4年度 主な活動の報告



メッセージ伝達式 7月1日



リモートの研修会の様子 5月18日



理事会の様子



啓発チラシ配布 (雲南市役所)



協力雇用主会総会 9月29日



令和4年度総会風景 5月10日



社会を明るくする運動のぼり立て 6月30日



頓原支部「プリズンサークル」映画上映会 7月13日

## しらふじ一日研修

秋晴れの十月十四日に雲南地区保護司会の一 日 視察研修として、松江市の「更生保護法人しらふじ」を訪問させて頂きました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、三年ぶりの実施になりました。

「しらふじ」は犯罪や非行をして刑務所や少年院等で過ちを償った後、社会に出て再出発をしようとしても頼るべき身内や縁故者がいない人に、宿泊や食事の提供、生活指導などを行なって社会復帰ができるよう援助している施設です。創立は明治四十四年で、平成二十五年に全面改築され、入所定員は二十名、施設の平均利用率は定員の約八割で、西日本各地の刑務所からの入所があります。年代も十代から七十代と幅が広く、障がい等があり福祉的支援が必要な人も多くいるということでした。

そのような中で、地域との連携をあらゆる面で行い、自治会の会合等に施設を開放したり、協力雇用主、協力家主、松江

市健康福祉課と連絡を密にして入所者がひとりでも多く自立できるように努力されていきました。更に再犯防止のために「しらふじ」の退所者へのフォローアップや支援も積極的に取り組んでおられて、そのための支援物資が不足していることを聞き、地区内の保護司に呼び掛けて、お米、衣類、生活用品など多くの品物の提供を受けて当日施設長様にお渡ししました。同じ更生保護に携わる者として再犯防止のためには多くの人々が連携して取り組んでいかなければならないことを改めて感じて今回の一日研修を終えました。

文責 久我卓央





# 『社会を明るくする運動作文コンテスト』 審査結果

## 入選作品紹介

### 雲南地区審査結果（雲南地区入選作品）

小学校				中学校			
学校名	氏名	学年	題名	学校名	氏名	学年	題名
鍋山小	名原 紗月	2	「いいね」の金メダル	大東中	藤本 陽菜	3	守られる意味とは
鍋山小	原 瑛太	5	人を笑顔にすること	海潮中	神庭 来羽	3	立ち直れる町
布勢小	若槻 隆太	5	差別のない社会にしたい	海潮中	錦織ひより	3	夏の体験
阿井小	渡部 真緒	6	きっかけさえあれば花開く	掛合中	高尾 星菜	2	去年の豪雨から学んだこと
三沢小	吉川 翔竜	5	笑顔の種	横田中	景山桃天子	1	自分にできる、人を笑顔にする方法

### 島根県審査結果

更生保護法人島根保護監察協会理事長賞（第3位）全国審査へ	大東中	3年	藤本 陽菜
島根県 BBS 連盟会長賞	海潮中	3年	神庭 来羽

県に推薦した作品の中に、前述し

「社会を明るくする運動」作文コンテストには、毎年たくさん応募があり、雲南地区では、二人の審査員が審査にあたり、小学校五点、中学校五点の作品を選考し、県本部に推薦します。審査は、正直大変です。作文のテーマが難しく（特に小学生には）、かなり教員の指導、アドバイスが入らないと、その趣旨にそぐわないものになるからです。

九月十五日の保護司研修会の場で、徳江会長が挨拶の中で、「作文を一生懸命に書いたことが分かり、心打たれた。」という趣旨の発言をされました。私には、すぐ今年の作文コンテストに出品された小学二年生女子の作文のことだと分かりました。



コウノトリの給餌（雲南市大東町春殖）

た小学二年生の作文がありました。私は胸を強く打たれました。人間にとって大切なものを一生懸命考えたことがにじみ出ている作品だったからです。迷わず、推薦作品に選びました。その子の学校で、ぜひ全校生に紹介してほしいと思います。良い作品を多くの人に広げること、この作文コンテストの意義が広がるのではないかと思うのです。

## 「作文コンテストに思う」

審査委員長 佐藤 幸夫



# 支部だより

## 赤来支部

支部長 高橋 浩文



昨年の七月二十六日、頓原支部と合同の保護司会研修会を開催しました。

講師に、松江保護観察所の岸統括保護観察官と上谷保護観察官をお迎えし、「ケースの少ない支部の活動のあり方や保護司の役割に

ついて」、「再犯防止推進計画の策定について」をテーマにご指導助言いただきました。

研修を通じ、いかなる場合でも保護司として対応できるよう研鑽に努め、緊張感をもって臨むことと、地域のつながりが非行防止の抑止力となり、安全安心な地域づくりの原点であると改めて感じました。

また、再犯防止も関係者だけの問題ではなく、ともに暮らす地域住民が他人事や無関心でないよう、再犯防止推進計画策定を契機



赤来・頓原支部合同研修会  
令和4年7月26日(火) 於 来島交流センター

に、従来の保護観察所と保護司の線から、行政の再犯防止ネットワークと連携して面へと拡がっていくよう期待するとともに、地道に取り組んでいきたいと考えています。

## 大東支部

支部長 藤原 茂

大東支部では七月の第七十二回「社会を明るくする運動」強調月間に町内各所へポスターの掲示、のぼり旗の設置、街頭でのチラシ配布のほか、作文コンテスト応募のお願いに町内の小中学校を訪問しました。

「社会を明るくする運動」の啓発活動として七月二十三日Aコープだいう店前で法務省からのチラシをウエットティッシュとともに配布しました。当日は「土用の丑の日」とあって、お昼のウナギを急いで買い求める方々を呼び止めて啓発品を渡し更生保護活動への理解と協力をお願いしました。

作文コンテストへの応募は、保



街頭キャンペーン

護司が分担して町内の小学校五校と中学校二校を訪問しお願いした結果、令和四年度は小中学校合わせて六校から八作品の応募がありました。このうち中学校の部で二人の生徒さんの作品が島根県審査で入賞し今後の励みになりました。

また、大東支部では最近六年の間に経験豊富な九人すべての保護司さんが任期満了を迎え退任されました。現在は地区の振興協議会から推薦のあった新人の保護司ですが、地域の更生保護と明るい社会を築くため活動を行っています。



横田支部

支部長 安部 茂寿

横田支部は、八川「翠明庵」をホームグラウンドに処遇会議を行ったり、季節の食を楽しんだりしています。

その中で鳥上小学校が再来年度



鳥上小学校5・6年児童と記念写真

に横田小学校と統合されることから、鳥上小学校でぜひ出前教室をしようということになりました。

横田支部初の出前教室を令和四年七月十三日(水)に鳥上小学校で実施しました。教科は道徳で、犯罪や非行をした人の生きづらさを考え、犯罪や非行のない幸福な明るい社会にするには何が大切か考えることをねらいとした授業です。「社会を明るくする運動」の説明、保護司の仕事、自分が犯罪や非行をした人になって生きづらさを考える、「社会を明るくする運動作文」の紹介を五人の保護司が分担して授業を実践しました。

少し難しいところはありましたが、「あいさつや友達の相談にのったりして犯罪や非行のない明るい社会にしていきたい」と児童は授業後の感想を述べています。来年度も他の学校で継続実施したいと考えています。

飯石地区更生保護女性会研修会の紹介

飯石地区更生保護女性会

会長 福間美紀江

コロナ禍で延期されていた研修会を、三年ぶりに松江保護観察所西江尚人所長をお迎えして開催しました。

講演の演題は「更生保護女性会の活動の背景となる保護観察事例を中心に」です。経験豊富な所長の言葉優しく内容は重く、具体的に説得力のある説明がありました。初めて知ることや学ぶことが多く、更生保護女性会活動も再認識しました。「更生は生まれ変わって生活をやります。保護は更生を助け犯罪から守る。更生保護女性会はその立ち直りを支援するボランティア団体である。その私たちが表現する言葉、あふれる笑顔、しなやか、ほっとけない精神で」を私たち会員に、活動の役割、必要性の理解と、地域との協働活動の基本とするべきアドバイスをいただきました。

最後のアトラクションは地元安来節グループの歌、踊り、銭太鼓で会場は盛況のうちに終わりました。

講演で学び、アトラクションでパワーをもらった有意義な研修会でした。







令和4年度保護司等中央研修会 (10月18日 日経ホール)



**令和4年度 更生保護事業関係者表彰**



法務大臣表彰 全国保護司連盟理事長表彰授賞式風景 令和4年11月2日くにびきメッセにて

法務大臣表彰

須山 哲好

高松 千草

安部 陽子

全国保護司連盟理事長表彰

藤原 静雄

中国地方更生保護委員会委員長賞

若月 薫

中国地方保護司連盟会長賞

陶山 頼子



## 退任のご挨拶



斐伊川桜

大東支部

土谷 文江

平成十四年医療職場を退職し、同年に保護司の任を受け二十年になりました。この間、保護観察対象者の多くは少年少女達でした。

犯罪を犯してしまった背景には、社会生活の基本となる家庭・友人・職場等、何らかの問題が考えられますが、本人以外立ち入れなかったもどかしさを感じていました。現在更生した元少年との交流があることに感謝です。

これまでご指導いただいた保護司の皆様、サポートセンターの皆様、長い間お世話になりました。最後に雲南地区保護司会の益々の発展と皆様のご健勝を祈ります。ありがとうございました。

## 新任保護司ご挨拶

木次支部

木下 雄介

三刀屋支部

原 真治

令和四年六月に保護司の委嘱を受けて間もなく、映画「前科者」を観ました。有村架純さんが演じる新米保護司が、保護観察の対象者と懸命に向き合う姿が描かれています。映画化される前に制作されたドラマも観てみました。

保護司としての経験が全くない私に、保護司の仕事の困難さや尊さを多少なりともわからせてくれた映画とドラマでした。中でも、最も心に残ったのは、ドラマの第一話で、初めて対象者を受け持つ主人公に、保護観察官が語った「対象者のリアルな感情を見つめ寄り添う、それだけ心をかけてください。」という言葉です。

私がこのようにできると不安でしかありませんが、皆様のご指導を賜りながら、誠心誠意務めてまいりたいと存じます。どうかよろしくお願いたします。



須賀神社例大祭

この度、保護司の委嘱を承りました原 真治と申します。出身は京都府山科区で育ち、都会でサラリーマンを経験した後、二十年ほど前に妻の実家を継ぐということで島根にイターンを致しました。

「保護司」の制度は周囲に保護司として活動をしておられる方がおられ、また昨年耳にすることがあり、言葉としては知ってはおりましたが、制度としてはほとんど知りませんでした。

研修を受け活動内容を知るうちに、「保護司の重責」は、中途半端な気持ちでは担えるものではないこと、また自身の資質が問われることを思うと、私のような経験の浅いものが受けていいのか大変迷いました。しかし、私の住む地域の方よりお勧めいただき、諸先輩方にご指導をいただき、明るい社会をすべてのみなさんと歩める一端を担えたらと思ひ頑張りたと思います。

どうぞよろしくお願いたします。



# 新任保護司紹介

新しく保護司に就任しました。  
よろしくお祈りします。

支 部	氏 名
大東支部	じょうだい かずはる 上代 一治

## 編集後記

雲南地区保護司会だより「こころ」も数えて二十五号の発刊となりました。保護司会の重要な活動の一つに「こころ」の便りを通じて、保護司会の活動の様子を雲南地区の皆様にお知らせし、地区住民と保護司との距離を少しでも近づけ、身近な存在として関わっていただく活動をしてまいります。今号も、各支部では活発な活動が展開されている様子をご覧いただけると思います。今後も、「こころ」を通じて、地区住民の皆様との架け橋となるよう努力していく所存です。温かいご支援をよろしくお祈りいたします。

(若月)

編集委員長	妹尾 和明
編集委員長	岡田 礼子
委員	若月 薫
委員	早水 守
委員	伊藤志津江

# 令和4年度雲南地区保護司会組織図

(令和4年12月1日現在)

